

〔目次〕

	ページ
2018年3月期業績	1
2019年3月期見通し	3
業績の推移(連結)	4
会社概要・事業構成・当社の強み	5
基本方針・中期戦略	6
事業内容	7
主なページへのリンク	8
IRお問合せ先	9

2018年3月期実績 (2018年5月15日発表)

増収減益

売上高については、衆議院選挙の実施により「選挙システム機材」の販売は大幅伸長しましたが、そのほかの「情報・産業システム機材」「印刷システム機材」「金融汎用システム機材」の販売がいずれも前年比減収となりました。しかしながら、昨年9月に子会社化したエム・ビー・エス(株)が連結対象になった効果が大きく、総売上高は増収になりました。

また、利益面では、高採算の「選挙システム機材」の大幅な増収効果はあったものの、「印刷システム機材」の減収と収益性低下の影響により減益の結果となりました。

2018年3月期決算短信

(百万円以下切捨)

連結

	2017年3月期 実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期 実績 (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
売上高	352億6800万円	372億9800万円	20億3000万円増	5.8%増
営業利益	11億700万円	9億6000万円	1億4700万円減	13.3%減
経常利益	12億4200万円	10億5900万円	1億8300万円減	14.7%減
純利益	7億8100万円	7億4200万円	3900万円減	5.1%減
1株当り純利益	105円3銭	99円70銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

単体

	2017年3月期 実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期 実績 (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
売上高	329億4100万円	311億400万円	18億3700万円減	5.6%減
営業利益	4億6200万円	4億500万円	5700万円減	12.3%減
経常利益	6億6400万円	5億8300万円	8100万円減	12.2%減
純利益	4億100万円	4億9800万円	9700万円増	24.2%増
1株当り純利益	53円88銭	66円92銭		

事業別実績対比

連結

(百万円以下切捨)

		2017年3月期 実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期 実績 (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
情報・印刷・産業 システム機材	売上高	229億8500万円	215億4100万円	14億4400万円減	6.3%減
	営業利益	△1億1500万円	△2億9900万円	1億8400万円減	—
金融汎用・選挙 システム機材	売上高	61億7000万円	70億1800万円	8億4800万円増	13.7%増
	営業利益	10億5100万円	10億2900万円	2200万円減	2.1%減
紙・紙加工品	売上高	58億9500万円	85億3100万円	26億3600万円増	44.7%増
	営業利益	△200万円	△1500万円	1300万円減	—
不動産賃貸・リース 事業等	売上高	2億1600万円	2億500万円	1100万円減	5.1%減
	営業利益	1億1700万円	1億100万円	1600万円減	13.7%減
合 計	売上高	352億6800万円	372億9800万円	20億3000万円増	5.8%増
	営業利益	11億700万円	9億6000万円	1億4700万円減	13.3%減

単体

(百万円以下切捨)

		2017年3月期 実績 (2016年4月～2017年3月)	2018年3月期 実績 (2017年4月～2018年3月)	差異	増減率
情報・産業 システム機材		73億8000万円	62億9300万円	10億8700万円減	14.7%減
印刷システム機材		135億円	122億6900万円	12億3100万円減	9.1%減
金融汎用 システム機材		21億9400万円	21億8600万円	800万円減	0.4%減
選挙システム機材		39億6900万円	48億2900万円 (過去最高の事業売上)	8億6000万円増	21.7%増
紙・紙加工品		58億9500万円	55億2600万円	3億6900万円減	6.3%減
売上高合計		329億4100万円	311億400万円	18億3700万円減	5.6%減

● 情報・産業システム機材 (単体):

スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、「文書のデジタル化事業」において官公庁や自治体からの大口案件が減少したほか、大型商談の延期などもあり、前年実績を下回りました。

● 印刷システム機材 (単体):

レーザー加工機をはじめとする印刷後加工分野の機器販売については伸長しましたが、CTPなど主力の印刷機器及び印刷材料の販売が、印刷需要の減少や販売単価の下落、印刷通販の台頭などの影響により予想以上に落ち込み、前年実績を下回りました。また、主力機材の販売低迷に伴い収益性が大幅に低下しました。

● 金融汎用システム機材 (単体):

金融機関のガバナンス強化によりセキュリティ機器の更新が進んだほか、インバウンド効果により外貨処理システムの販売は堅調に推移しましたが、全体的には金融機関及び流通市場における設備投資抑制の影響により、主力の貨処理機器の販売が伸び悩み前年実績を若干下回りました。

● 選挙システム機材 (単体):

上半期に東京都議会選挙をはじめ各地方選挙向けに機器や投開票システム等の販売が順調だったほか、下半期には昨年10月に衆議院選挙が実施されたことで同選挙向けに投票用紙読取分類機や計数機、交付機などの機器販売が好調に推移し、前年実績を大幅に上回る「過去最高の事業売上」を達成しました。

● 紙・紙加工品 (連結):

医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け低迷しました。一方、昨年9月に子会社化したエム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売は概ね順調に推移しました。

2019年3月期見通し(連結) (2018年5月15日発表)

増収減益

昨年9月に子会社化したエム・ビーエス(株)の業績が通期で連結算入(前期は7ヶ月間のみ)されるほか、前期の衆議院選需要の反動を受ける「選挙システム機材」以外の各事業がいずれも今期は販売増となる見込みのため、前年比増収となります。一方、利益面については、「選挙システム機材」の販売が大幅減少することが影響し減益となる見通しです。

(百万円以下切捨)

	2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
売上高	372億9800万円	393億2600万円	20億2800万円増	5.4%増
営業利益	9億6000万円	7億7100万円	1億8900万円減	19.7%減
経常利益	10億5900万円	8億2500万円	2億3400万円減	22.1%減
純利益	7億4200万円	4億8000万円	2億6200万円減	35.3%減
1株当り純利益	99円70銭	64円49銭		

*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

事業セグメント別

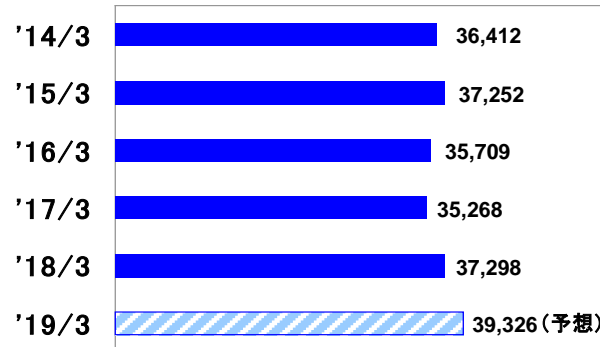
(百万円以下切捨)

	2018年3月期実績 (2017年4月～2018年3月)	2019年3月期見通し (2018年4月～2019年3月)	差異	増減率
情報・印刷・産業システム機材	215億4100万円	235億5000万円	20億900万円増	9.3%増
金融汎用・選挙システム機材	70億1800万円	50億5600万円	19億6200万円減	28.0%減
紙・紙加工品	85億3100万円	104億8900万円	19億5800万円増	23.0%増
不動産賃貸・リース事業等	2億500万円	2億2900万円	2400万円増	11.7%増
売上高合計	372億9800万円	393億2600万円	20億2800万円増	5.4%増

業績の推移(連結)

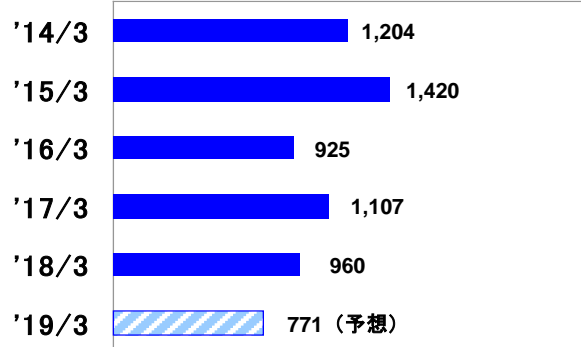
売上高

(単位:百万円)



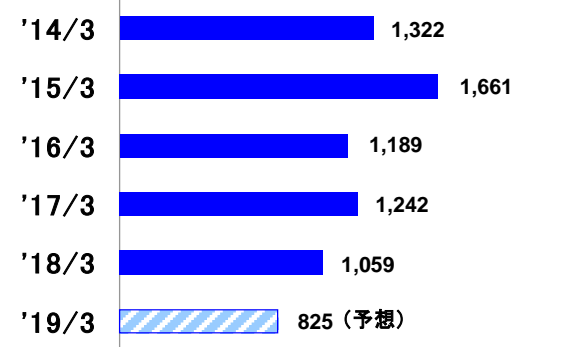
営業利益

(単位:百万円)



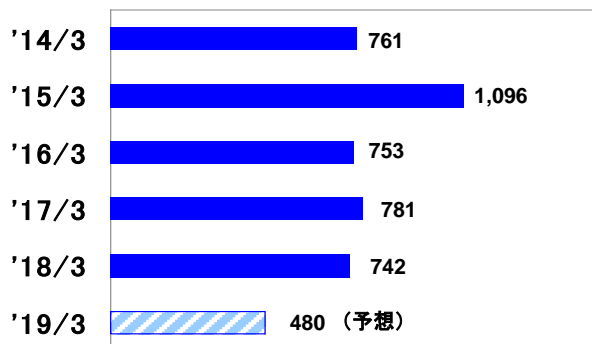
経常利益

(単位:百万円)



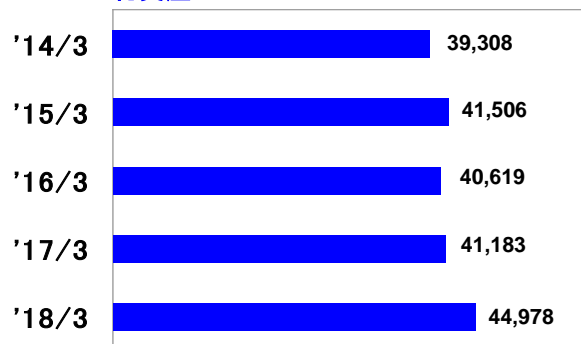
純利益

(単位:百万円)



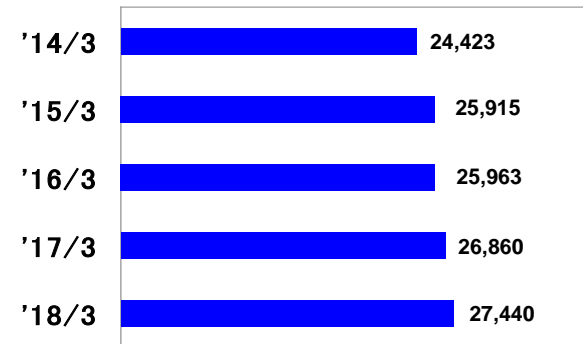
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



*「親会社株主に帰属する当期純利益」を「純利益」と表記。

	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3
自己資本比率	62.1%	62.4%	63.9%	65.2%	61.0%
1株当り当期純利益	100.60円	147.24円	101.18円	105.03円	99.70円
ROE	3.1%	4.4%	2.9%	3.0%	2.7%
ROA	3.3%	4.1%	2.9%	3.0%	2.5%

会社概要

商号	株式会社 ムサシ
証券コード	7521
上場	ジャスダック市場 (1996年10月上場)
本社	東京都中央区銀座8-20-36
設立	1946年12月
代表者	代表取締役社長 羽鳥 雅孝
従業員	連結577名/単体221名(2018年3月31日現在)
関係会社数	子会社9社, 関連会社1社
HPアドレス	https://www.musashinet.co.jp



- 本社** 東京都中央区銀座
- 販売拠点** 全国に11支店、7営業所
- 生産拠点** 武蔵エンジニアリング(株) 横浜工場
- テクニカルサポート** ムサシ・フィールド・サポート(株) 全国59ヶ所

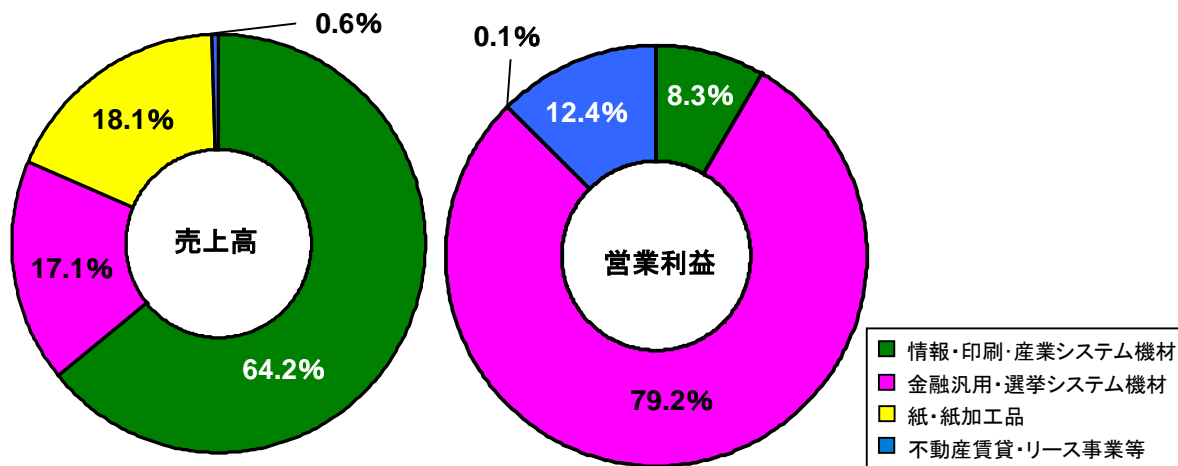


代表取締役社長 羽鳥雅孝

社長メッセージ

事業別構成

(5期平均：14年3月期～18年3月期)



当社の強み

- 収益基盤の多様化**
一つの事業の伸び悩みを他の事業が補完し、安定して収益を確保
- メーカー機能を併せ持つ**
商社である一方、子会社に設計・製造メーカーをもち、独自の商品開発機能を兼ね備える。
商品やシステムの企画・開発から設計・製造、販売、ソフト・技術サポートまでの一貫したサービスを提供。
- 安定した財務基盤**

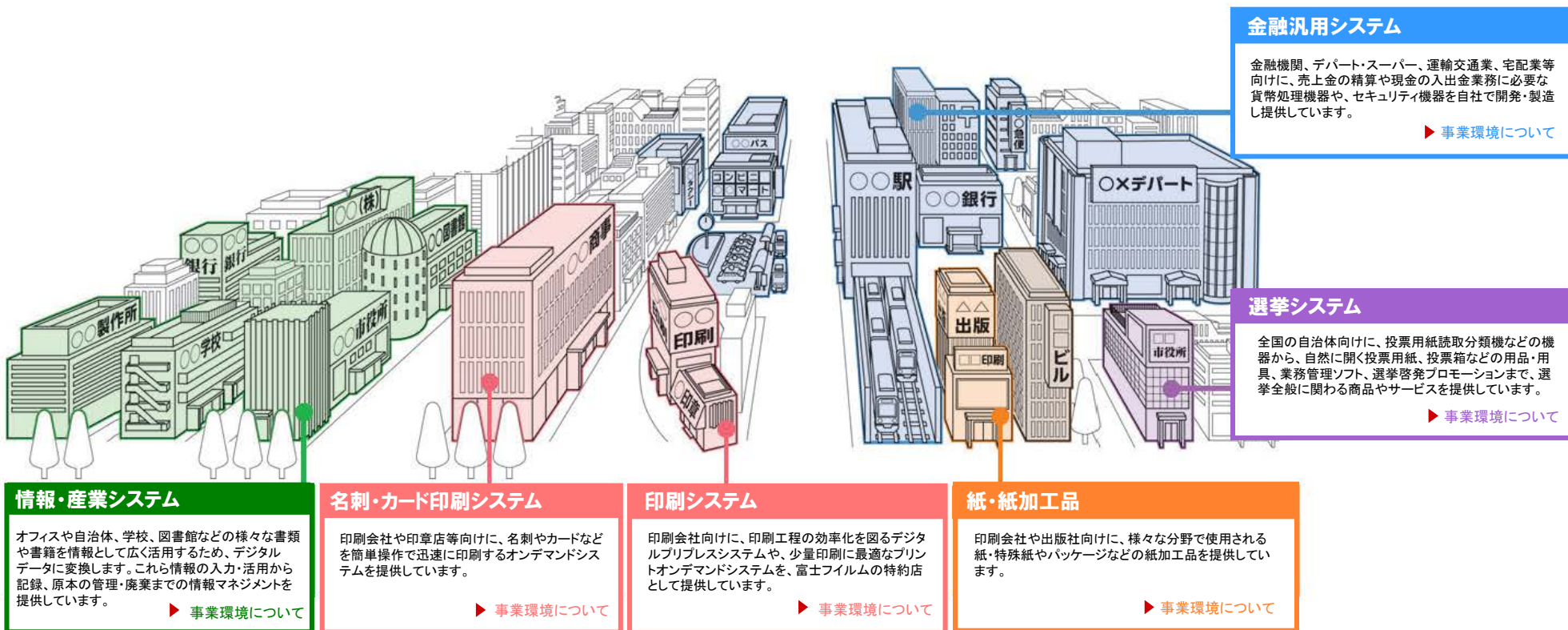
〔基本方針〕

- **本業に徹しながら時代の流れや変化に対応し、
取扱商品・サービス内容を変えていく。
同時に本業の周辺分野に新しい事業開拓の芽を見出す。**

〔中期戦略〕

- **業績が特需によって左右されない体制の確立を目指し、
「新規事業の開発」や「新商品の開発」を強化する。**

- 「事業環境について」をクリックすると、
事業環境の詳細ページに移動します。



● 知りたい情報をクリックすると、ホームページの該当ページに移動します。

社長メッセージを見る



IRニュースを見る

注目商品情報

・小ロットのシール・ラベルプリンター「EDGE850」



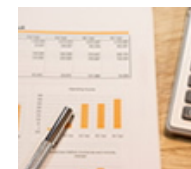
・新構造物の画像診断サービス「ひびみつけ」



ムサシの歴史を見る



他のIR資料を見る



株式会社ムサシ 広 報 室

住所：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目20番36号

TEL: 03-3546-7710(直通)

FAX: 03-3546-7831

E-mail : ir@musashinet.co.jp